



〈目次〉

● 留学生交流の夕べ

● 短期留学生修了式

● 留学生研修旅行

● Cアワー

● 中国語語学研修

● 留学説明会

● 今後の予定



## 留学生交流の夕べ 2月4日(水)

### 卒業・修了 おめでとう!

今年三月に行われる学位記授与式より一足早く、留学生の卒業・修了をお祝いするために、留学生交流の夕べが開催された。当日は、日頃から本学の国際交流にご協力いただいている方々をお招きし、学内外より一六〇名を超える方々のご参加を賜り、盛大に開催することができた。会の冒頭、高橋学長よりご挨拶があり、卒業・修了予定者に対して祝福のお言葉があった。また、この日を迎えられることは、周囲のご支援があったお蔭であり、それに対し、感謝の念を忘れることなく、今後更なる活躍を願うとのお話があった。卒業・修了生からは、ベトナム人留学生のフアムさんが代表挨拶を行い、これまでの留学生活での思い出や、お世話になった方々への感謝の言葉があった。その後、乾杯の挨拶に続き、和やかな雰囲気の中で交流会が行われ、参加者同士、思い出話に花を咲かせ、留学期間を振り返っていた。途中、卒業・修了予定者のスライドの上映が行われ、時間の速さと充実した留学生生活を会場に集まった全員で振り返ることができた。



## 短期留学生修了式 2月10日(火)

短期留学生13名の修了式が和やかな雰囲気の中行われた。冒頭、ナタリー国際交流センター長より修了証書が一人一人に渡され、修了生たちは、多少緊張した面持ちで証書を受け取っていた。その後、センター長より「どんな困難や壁にも負けず立ち向かっていったほしい」との告辞があり、教職員からもお祝いの言葉が贈られた。その後、各大学を代表して5名の修了生が答辞を述べてくれた。各々が半年から一年に及ぶ北見での思い出や感じたこと、留学して学んだことなどについて、流暢な日本語で話してくれた。どのスピーチも非常に心を打たれる内容であった。最後に、台湾と中国人修了生が中心になって作成してくれたフォトムービーを皆で観賞し、留学期間を振り返った。巧みなビデオ編成により、約10分という短い内容ではあったが、途中、笑いあり、感動ありの作品となっていた。皆、北見での思い出を振り返りながら、時の速さを感じる瞬間となったようである。今後の活躍を期待する次第である。



## 留学生研修旅行 2月15日(日)～16日(月)

紋別市で開催された「北方圏国際シンポジウムオホーツク海と流水」に今年も本学の留学生18名が参加した。当日は、あいにくの悪天候であったが、無事会場に到着し、開会式、レセプションに参加することができた。開会式では、本学の留学生の紹介もあり、会場の方々から温かい拍手を頂いた。夜のレセプションでは、留学生たちは地元の方々の手作り料理を堪能しながら、市民の方々と歓談していた。途中、アトラクションでは、本学の学生もパフォーマンスを行い、場を盛り上げていた。記念レセプションの後には、留学生たちは、各々のホストファミリー宅でホームステイを行った。翌日は、午前中に、基調講演や学術シンポジウムの発表を聞き、午後には、流水科学センターなど施設ツアーを行った後、帰学した。関係各位に感謝申し上げる。



## Cアワー×国際ナショナルコンサート 2月20日(金)

講堂にて、国際ナショナルCアワーを開催した。今回は、国際ナショナル・コンサートということで、ロシア、韓国、台湾、パナマ、モンゴル、中国、日本の7カ国9組がパフォーマンスを披露してくれた。最初に、ロシア民謡のピアノ演奏と歌のパフォーマンスがあり、手作りの民族衣装を着て、パフォーマンスしてくれた小学生2人の可愛さに、会場から大きな拍手が送られた。その後、日本人高校生のグループがヒップホップダンスで会場を盛り上げ、本学からは、韓国、パナマ、モンゴル、中国、台湾の留学生が、笛の演奏や歌を披露した。それぞれの国の言語の美しさや、日本とは異なる音色に、観客たちは聞き入っていた。休憩をはさみ、第二部では、尺八、三味線、太鼓の演奏があり、ソーラン節などの馴染みの曲が披露されると拍手が起きていた。また、中国人留学生の一人は、北見での最後のパフォーマンスということで、母国の歌を情緒豊かに、力強く歌い上げてくれた。最後は、「Let's sing」ありのままで〜」を合唱し、お開きとなった。



## 中国語語学研修（台湾） 2月28日（土）～3月23日（月）

今年度も昨年に引き続き、台湾の中国医薬大学北港キャンパスにおいて、中国語語学研修が実施された。今年は10名の学生が参加し、約三週間、語学の習得をはじめ、学生交流、施設見学、ホームステイなど、多岐にわたるプログラムを日々積極的に取り組んでいた。特に、本プログラムは、学生同士の交流時間が多く、観光や語学学校では経験できない、同世代間の交流が魅力的なプログラムである。実際に、一人の日本人に対し、四人のチューターが日々の生活をサポートしてくれ、非常に心強い環境下において、研修を行うことができた。ホームステイも当初は心配な学生もいたが、終わってみると、短かったと感じた学生が多くいたことに、ある意味うれしい驚きを感じた。三年連続で台湾でお世話になり、学生交流はもとより、教員交流も行えたことは、非常に大きな意義があり、今後とも両学ともに連携を図っていきたいと考えている。



## 留学説明会（台湾） 3月5日（木）～6日（金）

### 勤益科技大学 & 中国医薬大学



本学の姉妹大学である勤益科技大学と中国医薬大学において、留学説明会を実施した。許斐ナタリー国際交流センター長が、本学の概要をはじめ、留学生活全般に関する説明が行われた。両学とも、会場には約80名の学生が参加し、熱心に説明に耳を傾けていた。両学はこれまで毎年短期留学生を本学に派遣してくれており、今後派遣を希望する学生にとっては、生の情報を得られる貴重な時間となったようだ。また、帰国留学生から経験談を話してもらう時間も確保したため、より留学が想像しやすい形になった。皆さんの留学を心待ちにしている。

### 今後の予定（4月）

1日（水）～7日（火） 春季休業日

6日（月） 入学式

8日（水） 前期授業開始

22日（水） Cアワー（アトリウム 18:00-19:30）

29日（水） 昭和の日（祝日）

発行所：北見工業大学国際交流センター

住所：北見市公園町165

電話：(0157) 26-9370

FAX：(0157) 26-9373

E-mail：kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp